

第294回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成25年1月28日（月）午後16時30分より
- 2 開催場所 新潟グランドホテル会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員6人

出席委員

豊口 協	委員長	佐野 晃之	委員
福島 聡	委員	碓井 真史	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役会長	前川 磐	
代表取締役社長	室川 治久	
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太	
取締役（報道・制作・国際担当）	水島 敏夫	
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史	
報道制作局長兼報道部長	稲田 裕之	
制作部長	小木 裕介	
事務局	中川 保彦	紫竹 聡子

4 議 題

1) 番組合評

「夕方ワイド新潟一番 年末2時間半スペシャル」

〔放送：12月28日(金)15時50分～18時20分〕

(説明：報道制作局長 稲田裕之)

2) 会社報告

① 11・12月の視聴者の意見。 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例の報告等。(報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組の企画意図は、夕方ワイド新潟一番を見ていただいた視聴者に感謝し1年をふりかえるとともに、来年もよろしく、という趣旨で企画した番組であること。

番組内容は「明るく」「楽しく」。暗い世相の中、1年をしめくくれたのではないかという感想をもっていることが伝えられた。また、おせちの現物が見たかった、年末の今の様子を見たかったという意見に対しては今後の番組の中に活かしてゆきたい、という説明があった。

このほか、番組の構成については、通常の「夕方ワイド新潟一番」も生活情報とニュースが合体した番組であり、この番組も皆で作ろうという意図で報道を入れ、いろいろ検討した結果

この構成としたことを説明した。

●2 時間半のプログラムを組んでゆくのは大変だったのではないかと感じた。良いタイミングで4つのカテゴリーの情報を組み立てていたとおもった。

●この番組を見ると昨今の事象が簡単にわかる番組だと思った。おそらく2時間半を見続けてもらうのではなく、入れ代わり立ち代わり見てもらうことを狙って、バラエティやクイズなどいろいろなコーナーを意図的に入れていたと思うが効果はどうだったのかと思った。

●県内のさまざまな出来事や注目すべき明日への期待が巧みにうまく紹介され、また健康で明るく好感がもてた。

●おせちのプレゼントを届ける相手が不在で、本来なら生放送でめちゃくちゃになるところ、アナウンサーが元気に盛り返していて、見る側も生の面白さを感じて見ることができた。

●おせちを届ける中継で、アナウンサーの移動中の車内の様子を見せると、もっとキャラクターが生きたのではないか。

●届けたおせちが、どんなおせちだったのか見せてほしかった。たいへん気になった。

●おせちのプレゼントは最初北へ行って留守で、今度は南に行くことにしたが、となり近所をたずねて追跡をするような展開にすると生放送らしいはらはらどきどきが伝えられたのではないか。

●放送日が12月28日で官庁の御用納めなど時間がゆったり流れる中で、それにふさわしい寛げる内容だった。

●報道特集で、県内にいる被災者が今どうなっているか伝えて

いることに刺激を受けた。被災者の暮らしをもっと報道していかなくてはならないと思った。

また、トキは新潟にとって大きな問題なので、冬はどうしているのか続報的に報道することは非常にいいことだと思った。

●「ラーメンの旅」の続編は、これまで見ていない自分にとってはわかりづらい企画だった。

●せっかくの生放送だったので、年末の町の人たちの様子をもっと見せてほしかった。生活情報という意味では「今」の情報が少なく、まさに1年のまとめとして見られたと思うが、その日の様子も見ながら、1年終わったなという雰囲気になりたかった。

●報道の「福島」のコーナーは、希望があるように終わってゆくが、見ていて重い感じがした。でもなんでもかんでも明るくすればいいのではなくて、そういう重さを隣県の私たちが背負っていかねばいけないし、そのうえで何ができるのかを考えていかねばならないと感じた。

●料理のレシピの紹介と「頑張る新潟人」のコーナーは、お正月を迎えるに当たり、新潟の文化や人を効率的に紹介するコーナーで非常にインパクトがあった。

「頑張る新潟人」では日頃の努力や思いが大切だということを、特に若い人と中堅の人に光を当てて紹介していてよかった。

●番組のいちばん最後に、番組のテーマ曲を歌いながら、赤ちゃんや出演者の皆さんの写真が出てきて、すごく温かい感じがして1年のしめくくりとして面白かった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

11月…… 137件。

12月…… 250件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成24年11月26日)から昨日(平成25年1月27日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第293回審議会では

「NNNドキュメント ‘12

海を渡るコメ農家 アジアの胃袋を狙え」

を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

8 今回の第294回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・11月、12月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・11月、12月の単発番組制作一覧
- ・民間放送新聞(11/23, 12/3, 12/13, 12/23, 1/3, 1/23号)
- ・BPO(No.117, 118)

以上